

平成30年度

学校関係者評価報告書

阿南市立見能林小学校

平成30年度 学校関係者評価報告書

阿南市立見能林小学校

1 実施日時 平成31年2月28日(木) 午前9時30分～午前11時

2 場 所 見能林小学校 校長室

3 実施者 学校評議員 増田 英俊 氏
奥田 文子 氏
稲村 健一 氏
横手 善仁 氏

4 評価資料

- (1) 教室巡視(2校時目を参観)
- (2) 本年度の教育活動の成果と課題について説明
 - 本年度の児童の活躍を紹介
 - ・読書感想文や感想画、絵画など全国コンクールでの受賞
 - ・人権標語、ポスターなどの県下コンクールでの受賞
 - ・県陸上記録会、水泳能力検定会等での児童の活躍
- (3) 自己評価の集計結果と分析

5 評価結果

○「保護者等による児童の送迎の多さ」が依然として課題であるということである。他校でも同様の状況があるようだ。確かに、周辺で駐停車する自動車を目にする。これについては折に触れて学校の方針を打ち出していくべきであろう。

○中林や大湊方面から通学してくる(旧分校区の)児童、特に低学年児童は大変かもしれない。

○「見小っ子」の伝統は、「あいさつの素晴らしさ」である。交通指導をしてくれている地安会の方も感心されていた。長年それが保たれているということが素晴らしい。

○今やいじめのメインフィールドは SNS やインターネット上となっている。中学校になってからでは遅いという感がある。最早、小学校低学年から指導していく必要がある。入学説明会の際に、保護者への啓発をしていることは評価できる。

○今、課題となっていることは、先ずは、家庭で教えていくべきことが根っこにある。現在は、学校や警察、児童相談所が代わってやっている。

○ある程度は、学校が児童への指導や家庭の支援をしなければならないのではないかと。今後もその都度、注意喚起していくべきである。

○先程の授業参観の印象は、どのクラスも落ち着いて学習できていたと思う。児童の様子はもとより、保護者の様子も見ていきたいので、今後も授業参観の案内をお願いしたい。

○新学習指導要領が平成32年度から完全実施ということだが、学校の対応はどうしているのか。時数の確保など大変なのではと思っていたが、60分授業など、次年度へ向けてしっかりと対応していると伺ったが、しっかりと取り組んでもらいたい。

○学校のホームページの閲覧数等は伸びているか検証してみてもどうか。行事報告など楽しみにしている。「見小だより おまけ号」は非常に良い。今後も、地域や保護者へ向け積極的に情報発信してもらいたい。

○防災教育について、同じ中学校区で防災への知識や意識に大きな差がないように、積極的に取り組んでほしい。

○公民館でも、地域の防災士を中心として地域ぐるみでの取り組みを始めたところである。今後は、学校と地域がもっと連携していけばよいのではないかとと思う。

○読書活動については、地域の人材をもっと活用するなどして工夫してはどうか。